



『あなたのリウマチレポート』

配布のお知らせ



京大病院リウマチセンターでは、当センターに通院しているリウマチ患者さんに対して、年に1回「あなたのリウマチレポート」を配布しています。

これは、患者さんに日々の診療で記入してもらっている問診票のデータや血液検査の結果、医師の診察所見などを合わせたリウマチの総合的な活動性（病気の勢い）をグラフにして、患者さん一人一人に対してお渡ししているものです。

（大変申し訳ございませんが、データ抽出の都合上、場合によっては一部の患者さんに配布できないケースもございますので、ご了承ください。）

※今年度は **11月中旬から** 配布を開始しております。

あなたのリウマチレポート



レポートの使い方

「あなたの関節リウマチの活動性」(左下)について
医師の診察により、圧痛(押すと痛む)関節の数です。
腫痛関節数: 医師からみて「腫れている(=炎症がある)」関節の数です。
患者さんの主観的評価: 患者さんが「今現在自分のリウマチの痛みをどれくらい辛いと感じているか(患者さんが感じているリウマチの程度)」を示した数値です。10が「今までで最も痛み辛い」、0が「全く感じるところありません」です。
医師の主観的評価: 担当医師があなたのリウマチが今どれくらい辛い状態か、ということの主観的に評価した数値です。10が「今までで最も辛い状態」、0が「リウマチが治った(寛解)」状態です。
身体機能評価: アンケート形式でお伺いしている関節の機能のことです。関節痛やリウマチによる変形が現れていると、日常生活の動作に制限が生じますが、これもあなたの「リウマチの程度」を評価する上で重要で、CSF: 炎症反応で、一般にリウマチの勢いと相関しますが、かぜや外傷のときにも上がるので、この数だけでリウマチの程度を判定することはありません。
「あなたの関節リウマチの活動性の推移」(右下)について
DAS28: からだの28関節の状態を全て、炎症反応と患者さんの主観的評価を含めて計算した「リウマチの勢い(程度)」です。
sDAI: DAS28と計算する方法で計算した「リウマチの勢い(程度)」です。

	よい(寛解)	まあまあ	もう少し	悪い
DAS28	< 2.6	≤ 3.2	≤ 3.5	> 3.5
sDAI	≤ 3.3	≤ 11	≤ 26	> 26

京大病院リウマチセンター

